

17 引張力を土台に定着させる座金の仕様

座金

座金は、建築基準法施行令第47条第2項において「ボルト締めは、ボルトの径に応じ有効な大きさと厚さを有する座金を使用しなければならない。」と規定している。特に、基礎や柱と土台等の横架材を緊結させるために用いるアンカーボルト等の座金は、柱脚または柱頭接合部の短期許容引張耐力に応じて、下表の仕様の角座金または同等以上の座金を使用することが望ましい。

土台等の横架材に定着させるアンカーボルト等の座金の仕様

柱脚または柱頭接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様
6.4kN以下	厚さ4.5mm、40mm×40mm
14.4kN以下	厚さ6.0mm、60mm×60mm
25.6kN以下	厚さ9.0mm、80mm×80mm

アンカーボルトのナットの掛かりは、ねじ山を3山以上出すこととしているが、座彫り座金(土台アンカーボルトに使用する座金で、土台上面をフラットにおさめるために開発されたもの。)に関しては、ナットの掛かりがねじ山の3山未満であっても、耐力上支障がないものもある。

※【フラット35】対応木造住宅工事仕様書 平成27年版 抜粋

接合具の短期許容耐力表(kN)

名称	記号	短期許容耐力(kN)		
		べいまつ類 ^{※1}	ひのき類 ^{※2}	すぎ類 ^{※3}
角座金	W4.5×40×φ14	9.60	8.32	6.40
	W6.0×60×φ14	21.60	18.72	14.40
	W9.0×80×φ18	38.40	33.28	25.60
丸座金	RW6.0×68×φ14	21.77	18.87	14.51
	RW9.0×90×φ18	38.14	33.06	25.43

(注1)座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、座面積の算出方法は、(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。

(注2)※1 べいまつ類:べいまつ、くろまつ、あかまつ、からまつ、つが

※2 ひのき類:べいつが、ひのき、べいひ、ひば、もみ

※3 すぎ類:すぎ、べいすぎ、とどまつ、えぞまつ、べにまつ、スプルス

※(公財)日本住宅・木材技術センター「Zマーク表示金物の耐力性能一覧表」抜粋

